

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式						
M212T301		精神看護方法論 (Psychiatric and Mental Health Nursing Practice )					精神看護学							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	2	3	医学部看護学科	前	水1,水2	日本語		複数(共同)						
担当教員	氏名 岩本祐一、河野修 E-mail yiwamoto@ 内線 5074													
授業の概要	精神疾患に関する基礎的知識を学び、精神の健康問題に直面している対象とその家族を理解するとともに、彼らに必要な援助方法を習得する。個別的な看護を展開するための基礎的能力を養う。													
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1 精神の発達に関連する精神疾患とその看護について説明することができる。														
目標2 主な精神症状、精神科疾患とその看護について説明することができる。														
目標3 精神看護における治療的患者・看護師関係について理解し、効果的な看護技術を習得することができる。														
目標4 オレム・アンダーウッ드의セルフケアモデルに基づく看護過程を考えることができる。														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)							2	3	3		2			
授業の内容														
1	精神看護におけるコミュニケーション技術、場面の再構成													
2	精神看護におけるコミュニケーション技術、場面の再構成													
3	統合失調症急性期・回復期にある対象の看護													
4	統合失調症急性期・回復期にある対象の看護													
5	抑うつ障害、強迫性障害、依存症(物質依存、摂食障害)を持つ対象の看護													
6	抑うつ障害、強迫性障害、依存症(物質依存、摂食障害)を持つ対象の看護													
7	CBT,(認知行動療法)、SST、心理教育													
8	CBT,(認知行動療法)、SST、心理教育													
9	発達障害を持つ対象の看護													
10	発達障害を持つ対象の看護													
11	セルフケア理論を用いた看護展開													
12	セルフケア理論を用いた看護展開													
13	セルフケア理論を用いた看護展開													
14	セルフケア理論を用いた看護展開													
15	展開事例の発表治療的患者 看護師関係-その1													
16	展開事例の発表治療的患者 看護師関係-その1													
17	展開事例の発表治療的患者 看護師関係-その2													
18	展開事例の発表治療的患者 看護師関係-その2													
19	さまざまな精神疾患を持つ対象の看護													
20	さまざまな精神疾患を持つ対象の看護													
21	精神科デイケアの役割と機能の理解、実際の活動の理解													
22	精神科デイケアの役割と機能の理解、実際の活動の理解													
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														
ラーニング	A:知識の定着・確認	A:地域における精神科施設の見学					工 夫 の 他 の	・事例や動画を活用し、精神看護学について深く考えられるようにする。 ・ロールプレイ演習を取り入れ、精神看護の実際について学ぶ機会を設ける。						
	B:意見の表現・交換	B:グループでの検討、発問												
	C:応用志向	C:ロールプレイ演習												
	D:知識の活用・創造													

授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	教科書、参考文献等を用い次回の学習内容について予習する。(10h)										
	事後学修	配布資料と、適宜教科書を用い学習した内容の復習。課題レポートの作成(5h)。										
	想定時間合計											
教科書	岩崎弥生他編：精神看護学 精神看護学概論 精神保健（新体系 看護学全書），メヂカルフレンド社 第6版,2021 岩崎弥生他編：精神看護学 精神障害をもつ人の看護（新体系 看護学全書），メヂカルフレンド社 第6版,2021 河村奈美子他編：看護の治療的コミュニケーションと心のケア：実践力を高めるワークブック,大学教育出版,2021											
参考書	参考文献等は適宜提示する。											
成績 評価 の 方法 及び 評価 割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	授業参加状況、提出物（レポート等）等	40%										
	期末試験	60%										
注意事項	講師の都合により講義日程を変更することがある。											
備考												
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の実務 経験	看護師											
教員以外で 指導に関わ る実務経験 者の有無												
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	看護師											
実務経験を いかした教 育内容	精神看護学領域において、エビデンスに基づいた質の高い看護実践を行うために、看護実践の理論と基盤となる構成概念を講義する。											